



## 2021年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年7月14日

上場会社名 株式会社プラップジャパン コード番号 2449 代表者(役職名) 代表取締役社長 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 四半期報告書提出予定日 2021年7月14日 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無 四半期決算説明会開催の有無 : 無	上場取引所 東 URL <a href="https://www.prap.co.jp/">https://www.prap.co.jp/</a> (氏名) 鈴木 勇夫 (氏名) 白井 智章 (TEL) 03(4580)9111 配当支払開始予定日 —
--	--

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年8月期第3四半期の連結業績(2020年9月1日~2021年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第3四半期	6,121	62.6	245	△6.7	266	△0.5	110	△38.0
2020年8月期第3四半期	3,764	△21.4	263	△53.9	267	△53.4	177	△39.4

(注) 包括利益 2021年8月期第3四半期 157百万円( 2.6%) 2020年8月期第3四半期 153百万円(△56.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第3四半期	27.31	—
2020年8月期第3四半期	44.38	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第3四半期	6,003	4,483	72.0
2020年8月期	5,217	4,374	82.0

(参考) 自己資本 2021年8月期第3四半期 4,322百万円 2020年8月期 4,279百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2021年8月期	—	0.00	—	—	—
2021年8月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2020年8月期期末配当金の内訳 普通配当 39円00銭 記念配当 1円00銭

### 3. 2021年8月期の連結業績予想(2020年9月1日~2021年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000 ~8,000	147.0 ~168.0	250 ~350	103.5 ~144.9	—	—	—	—	—

(注) 1. 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益についても黒字の計上を見込んでいますが、具体的な予想数値の開示は行っていません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年8月期3Q	4,679,010株	2020年8月期	4,679,010株
② 期末自己株式数	2021年8月期3Q	614,828株	2020年8月期	682,828株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年8月期3Q	4,030,079株	2020年8月期3Q	3,996,182株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2020年9月1日～2021年5月31日）の世界経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大や変異株の出現など、厳しい状況が長引いています。一方、中国では経済活動が再開され、景気回復傾向が持続しています。日本経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、3回目の緊急事態宣言が発令されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いています。

このような状況のもと、当社グループは、当社単体を含む国内PR関連事業会社が増収減益、国内デジタル事業子会社が増収増益、中国・シンガポールの海外子会社が増収増益、M&Aによるのれん償却額が増加し、グループ全体では増収減益の結果となりました。

当社単体含む国内PR関連事業子会社では、ヘルスケア、IT、危機管理広報コンサルティング及びトレーニング案件といった当社の強みが発揮できる新規業務を継続的に受注しています。当社単体においては、新規の問い合わせや新規提案数が、新型コロナウイルス感染症拡大前の水準を上回るペースが続いています。また、デジタル広告子会社との連携を深め、デジタル領域のサービスを強化したことで、SNSキャンペーンやデジタル広告施策などの売り上げが当社業績にも寄与しました。

国内のデジタル事業については、デジタルマーケティングソリューション企業の「株式会社プレジジョンマーケティング」が、当社との連携のみならず、海外子会社との連携によって新規開拓の実を結ぶなど、グループ全体でのシナジー効果を生み出しています。また、「ブラップノード株式会社」が開発した広報PR業務のSaaS型クラウドサービス「PRオートメーション」は、ダッシュボード画面をリニューアルし、自動クリッピング機能の拡充を図るなど、2020年9月のサービス開始以来、アップデートを継続しています。今後も、当社が培ってきたPR視点でのコミュニケーションコンサルティングとデジタルソリューションとを統合し、今まで以上に幅広いサービス提供を推進します。

海外の連結子会社のうち、中国の連結子会社は、中国経済の持ち直しも影響し、新規案件を継続して受注しています。引き続き人的リソースを最適化し、効率化を進め、利益体質強化を図ります。シンガポールの連結子会社においては、2021年3月にグループ化したシンガポールのデジタルクリエイティブエージェンシーである「Wild Advertising & Marketing Pte. Ltd.」（以下、Wild）は、当社グループとの連携により日本企業のグローバルサイト分析・戦略立案の案件を獲得するなど、シナジー効果が発揮されています。Wildの顧客であるシンガポール政府機関、ローカル企業やグローバル企業に対する営業深耕を図ることで、今後さらなる連携強化および東南アジア地域でのデジタルマーケティング事業の規模拡大を目指します。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,121百万円（前年同四半期比62.6%増）、営業利益は245百万円（前年同四半期比6.7%減）、経常利益は266百万円（前年同四半期比0.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は110百万円（前年同四半期比38.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、4,686百万円と前連結会計年度末に比べ36百万円の増加となりました。これは、現金及び預金541百万円が減少したものの、受取手形及び売掛金409百万円、電子記録債権19百万円、たな卸資産73百万円が増加したことが主な要因であります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、1,317百万円と前連結会計年度末に比べ749百万円の増加となりました。これは、のれん439百万円、ソフトウェア18百万円、投資有価証券49百万円、差入保証金225百万円が増加したことが主な要因であります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、1,316百万円と前連結会計年度末に比べ688百万円の増加となりました。これは、未払法人税等6百万円が減少したものの、支払手形及び買掛金538百万円、未成業務受入金109百万円が増加したことが主な要因であります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、203百万円と前連結会計年度末に比べ10百万円の減少となりました。これは、固定負債その他に含まれる長期未払金24百万円が増加したものの、役員退職慰労引当金42百万円が減少したことが主な要因であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、4,483百万円と前連結会計年度末に比べ108百万円の増加となりました。これは、利益剰余金56百万円が減少したものの、自己株式43百万円の減少や、資本剰余金45百万円、非支配株主持分64百万円が増加したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年8月期の業績予想につきましては、現時点において2020年10月15日に公表した「2020年8月期決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

なお、予想数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,815	3,274
受取手形及び売掛金	591	1,001
電子記録債権	33	53
たな卸資産	91	164
その他	118	194
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	4,650	4,686
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	31	32
その他（純額）	29	45
有形固定資産合計	61	77
無形固定資産		
のれん	21	460
借地権	0	0
ソフトウェア	60	79
無形固定資産合計	82	540
投資その他の資産		
投資有価証券	—	49
差入保証金	245	470
繰延税金資産	101	107
その他	77	71
投資その他の資産合計	423	698
固定資産合計	567	1,317
資産合計	5,217	6,003

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	153	692
未払法人税等	50	43
未成業務受入金	108	218
賞与引当金	41	81
その他	273	280
流動負債合計	628	1,316
固定負債		
長期借入金	16	17
役員退職慰労引当金	42	—
退職給付に係る負債	149	156
繰延税金負債	0	0
その他	6	29
固定負債合計	214	203
負債合計	843	1,520
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	470	470
資本剰余金	374	420
利益剰余金	3,873	3,816
自己株式	△434	△391
株主資本合計	4,284	4,316
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△0
為替換算調整勘定	△4	7
その他の包括利益累計額合計	△4	6
非支配株主持分	95	160
純資産合計	4,374	4,483
負債純資産合計	5,217	6,003

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2020年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年9月1日 至2021年5月31日)
売上高	3,764	6,121
売上原価	2,797	4,795
売上総利益	966	1,326
販売費及び一般管理費	703	1,080
営業利益	263	245
営業外収益		
債務勘定整理益	—	5
受取利息	0	0
貸倒引当金戻入額	2	3
補助金収入	—	9
保険解約返戻金	—	3
その他	2	3
営業外収益合計	5	26
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	0	5
その他	—	0
営業外費用合計	1	6
経常利益	267	266
特別損失		
固定資産除却損	0	—
事務所移転費用	19	—
特別損失合計	19	—
税金等調整前四半期純利益	248	266
法人税等	88	129
四半期純利益	159	136
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△17	26
親会社株主に帰属する四半期純利益	177	110

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)
四半期純利益	159	136
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△0
為替換算調整勘定	△5	21
その他の包括利益合計	△5	21
四半期包括利益	153	157
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	173	121
非支配株主に係る四半期包括利益	△19	36

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)
税金費用の計算	当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)

「II 当第3四半期連結累計期間(報告セグメントの変更等に関する事項)」に記載のとおりであります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)

当社グループは単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社グループの報告セグメントは従来「PR事業」「その他事業」の2事業に区分して報告しておりましたが、第1四半期連結会計期間より「PR事業」の単一セグメントに変更しております。

この変更は、その他事業として営んでおりました物販販売等を、前第2四半期に事業を廃止したためであります。

この変更により、当社グループの報告セグメントは単一セグメントとなることから、前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間のセグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。